

令和6年度一般選抜前期日程  
実技型（体育）小論文（出題の意図及び解答例）

【出願の意図】

救命救急法に基づく思考・判断力の程度を問う。傷病者の状況から、想定される場面を分類し、それぞれの場面において適切な対処方法を論理的に整理して記述する能力を問う。

【解答例】

周囲の人に大声で協力を求める。友人または周囲の人に119番通報とAEDを持ってきてもらうように依頼する。普段通りの呼吸をしていないのであればすぐに胸骨圧迫を開始する。胸の真ん中に手のひらの付け根を置いて、垂直に5cm程度沈むくらいに100～120回／分のテンポで繰り返し押す。周囲に人工呼吸ができる人がいれば、胸骨圧迫30回につき2回人工呼吸を行ってもらう。人工呼吸ができなければ、胸骨圧迫のみを継続する。AEDが到着したらケースを開け、電源を入れてもらう。電極パッドを胸の右上と左下に装着する。AEDが心電図解析を始めたら一旦、胸骨圧迫を中断する。AEDが除細動すると指示したら、全員離れ、男性に触れないようにする。除細動後、ただちに胸骨圧迫を再開する。もし、AEDが除細動しないと指示しても胸骨圧迫を再開する。救急車が到着し、救急隊員に引き継ぐまで、または男性の意識が戻るまで胸骨圧迫を継続する。

(399文字)